

日本の元気をめざす **現代の医療**

先端医療・地域医療 実力医療機関

歴史豊かな大分・中津から発信
高度専門医療を地域に届ける整形外科のエキスパート



研究と地域への還元
好循環を生む環境

同理事長が主催する日米宇宙・潜水・高気圧環境医学合同学会には一流研究者が各国から中津に集う。同理事長が中心になって研究を進めるマイクロバブル、ナノバブルなどの最先端技術はアメリカ航空宇宙局(NASA)からも注目されている。こうした好循環も「世界から刺激を得る環境づくり」を掲げる理事長の実践の一端だ。

同院の医師たちも続々と研究成果を発表。高齢化が進む地元地域のニーズに応える膝、肩、関節、手外科などの分野で治療に当たる医師がそれぞれ高水準の技術を有するまでになった。

「解体新書」を翻訳した前野良沢、「学問のすゝめ」を著した福沢諭吉、黒田官兵衛ゆかりの地として知られる歴史の彩り豊かな大分県中津市に、最先端の研究を発表し続ける病院がある。川島整形外科病院の川島眞人理事長は、地元根付くと同時に世界に発信し続ける新たな地域医療のあり方を1981年の開院当初から模索してきた。

「我々が価値ある研究ができれば、自ずと地元で世界水準の医療を提供できるよつになります」

同理事長は潜水士の骨壊死のメカニズムを解き明かした、日本における高気圧酸素治療の先駆的存在だ。その治療を発展させ、骨髄炎や悪性腫瘍などの難治性疾患に適應する研究は世界から注目を集めている。



複数人が一度に治療できる高気圧酸素治療用タンク。この規模の装置を導入している施設は日本でも数少ない

**先人、歴史に学ぶ
未来志向の地域医療**

「医師には世界に出て学んでもらうています。療法士をはじめとするスタッフも論文発表や学位の取得など、専門性を高める努力を続けています」

国際学会を主催し、自らも世界中で論文を発表する同理事長の徹底した世界志向が院全体の向学心に大きな影響を与え、それが地域に還元されている。地方における医療問題に汲々として、それを打破していく姿勢は中津の先人に学んだもの。福沢諭吉の生家のほど近くで生まれたという同理事長は「先人に学ぶことで未来を切



全国的に見ても高齢化が進む地域のニーズに応えるべく、広さ設備ともに充実させたリハビリフロア



理事長
川島 眞人 (かわしま まひと)
東京医科歯科大学医学部卒業後、虎ノ門病院、九州労災病院を経て1981年、川島整形外科病院を開院。86年医療法人玄真堂理事長に就任。東京医科歯科大学医学部臨床教授。医学博士。大分県病院協会会長。日米宇宙・潜水・高気圧環境医学合同学会会長を務め、地元大分から世界に研究を発信している。

「開くヒントが得られる」と地域の歴史研究にも注力する。

2013年11月には外来部門とリハビリを中心とするクリニックを分離する新病院を開設。介護老人保健施設などを併設した地域医療の拠点として充実の医療を提供している。

「県北地域の専門医療を担いつつ、中津から世界に発信する」川島理事長の想いは地域の医療を支え続けている。



社会医療法人 玄真堂
川島整形外科病院

【診療時間】 平日 9:00~18:00

(初診は17:30まで)

土曜日 9:00~12:00

【休診日】 日曜・祝祭日

年末年始12月30日~1月3日

〒871-0012 大分県中津市宮夫17

TEL 0979-24-0464

FAX 0979-24-6258

<http://kawashimajp.jp>



敷地内には外来診療を行うかわしまクリニックのほか、介護老人保健施設、訪問看護リハビリ、デイサービス、ヘルパーステーションなど様々な施設を併設